

- 本日開催いたしました教育委員会会議におきまして、「県立高等学校の学科の再編」について決定いたしましたので、その内容を御説明いたします。
- 県立商業高等学校4校、尾道商業、広島商業、呉商業及び福山商業の各高等学校につきまして、それぞれ令和4年度から既存の複数学科を発展的に統合し、商業の単一学科として、学科名を「情報ビジネス科」といたします。
- 背景といたしましては、グローバル化や情報技術の進歩などがございますけれども、大きくはやはり、ビジネスそのものにいろんな形があると思います。マーケティングもあれば会計学もあれば、それからオペレーションマネジメント、いろんなものがございますけれども、全て統合的に学んでいかないと〔いけない〕。例えば、今までやってきた国際経済といっても、全部、国際に関わってきたりしますので、切り分けられないということがございます。
- それともう一つのニーズといたしましては、やはりそうは言っても、IT化、それから、DX化しているというようなことがございます。ということで、幅広くビジネスをやるという人と、それから、そうは言っても深掘りで、例えば、そのDXをやるという方と、深掘りをする方と分けられるとっておきまして、今回は〔学科を〕統合をして、「情報ビジネス科」とさせていただきたいと思っております。
- どちらもこのDXのスキルも必要になってきますし、どちらもただ物をつくっているだけでは駄目で、やはりどんなものをつくれれば売れるかという、どんなものが消費者あるいは世の中から望まれているのかということが分からないといけません。ただその前に、やはり私とは何者かとか、私はどうやって生きていこうかというものが無いと、世の中に対してどんな価値づけをしていったらいいのかということが分からないことがありますので、まずは、この広島版「学びの変革」の一環といたしまして昨年度から行っております、商業〔高校〕のアップデート〔において〕、プロジェクト型の学習を先行しておりますけれども、こちらの方を進めておりました。また進めていた1年生・2年生におきまして3年生で、新たな時代のビジネスに求められる情報活用能力ですとか、あるいは、卒業後に即戦力として企業に貢献する人材、あるいは、金融とか会計のエキスパートとして、もしくは情報のエキスパートとして、活躍する人材の育成を目指して、今回は学科改編を行うこととしております。

- 学科改編のポイントでございますが、生徒の個別最適な学びを実現するために第1学年は共通履修、それから第2学年からは選択〔履修〕とした上で、皆さんのお手持ちの教育内容のところにありますように、これまで一部の小学科のみで行われていた情報の活用に係る学びを、全生徒、それから全学年で行うことといたしまして、特に情報処理に係る学習を深めたいと考える生徒につきましては、将来、システムエンジニアとかプログラマーといった職種も視野に入れて、最新のプログラミング言語の学習などを履修できるようにしていきたいと思っております。

- また第1学年では、先ほど申し上げましたように商業〔高校〕アップデートでやっておりますビジネス探究、これがかなり子供たちにとっては、自分のことも分かって、そしてどういうふう在世の中に価値づけしていくかということの礎になってきているようでございます。こちらの1年生でやった自分との向き合い方を深めて、2学年以降の選択履修につなげるというふうにしていきたいと思っております。

- 説明は以上でございます。